

2010 年度
建設工学専攻修了生
土木工学科卒業生へ

- ・土木工学科からのメッセージ
- ・4年生クラス担任からのメッセージ
- ・土木工学科教職員からのメッセージ
- ・2010年度受賞者一覧
- ・白亜会より（同封）

2011年3月25日

芝浦工業大学
工学部
土木工学科教職員一同

建設工学専攻（土木系）修了生
土木工学科 卒業生

土木工学科から皆さんへのメッセージ

ご卒業おめでとうございます。

本来であれば、一堂に会して、皆さんの修了、卒業をお祝いし、教職員一同で送り出したかったのですが、残念ながらそれが叶わず、今回はこのような形で、皆さんにメッセージをお贈りすることとなりました。

皆さんは、芝浦工業大学土木工学科を志し、難関を突破して入学され、この度、無事、修了、卒業を迎えられました。大学4年間、あるいは6年間の中で得た人とのつながり、知識、経験は皆さんの財産でもあるし、誇りでもあります。大切にすると同時に、更に有意義に活かして行って欲しいと思います。この大学生活の最後の時期に、今回の東北地方太平洋沖地震が起きました。これが引き起こした震災の惨状に、悲しみは耐えられません。土木構造物である防潮堤は人を救うことができませんでした。鉄道や道路、上下水道などの社会基盤が受けた甚大な被害は、今もなお住民の生活、復旧活動に支障を与えています。安全で、安心できる都市を創ることは、皆さんの使命です。その実現は決して容易ではありませんが、自然を畏れ、社会の声を聞き、自ら考え、少しでもその実現に向けて、皆で行動していくことが重要であると思います。我々教員も、ともに行動していく考えです。

皆さんは、修了あるいは卒業と同時に、修士（工学）あるいは学士（工学）の学位を取得されました。その証が、本来は一人一人、直接お渡しすることになっていた学位記です。この学位記には皆さんの今後の活躍への期待も込められています。土木技術も適用範囲の拡大やコスト低減、工期短縮などに向けて日々進化しています。現場においても、その新しい技術の導入が図られています。大学で学んだ専門知識をベースに、不断の努力を行うことを期待しています。

今回は、学科からのメッセージの他に、人生の先輩でもある教職員全員からのメッセージも綴ってあります。是非、読んで頂くとともに、学位記と一緒に大切に保存しておいてください。そして、つらいとき、悩んだときなど、何かのときに、読み返して頂ければと思います。きっと、新しい力、勇気などが湧いてくると思います。また、土木工学科の受賞者の一覧も付けてあります。本来は、卒業式、あるいは、学科の授与式の中で表彰しているのですが、これもできませんでした。この場を借りて、受賞された方々の弛まぬ努力と行動に対し敬意の念を伝えたいと思います。心よりおめでとうございます。

皆さんは卒業と同時に、土木工学科の同窓会である『白亜会』に入会されます。その白亜会からのメッセージも同封しました。白亜会では、2年に1回、秋頃に総会を開催していますが、今年はその開催年となります。OB、OGとともに皆さんの卒業、修了を改めてお祝いしたいと考えております。ぜひ、ご都合を合わせて、参加してください。この白亜会も、芝浦工業大学建設工学専攻および土木工学科とともに大切にし、活用して欲しいと思います。

最後になりますが、皆さんの今後のご活躍とご健勝をお祈りしています。

2011年3月25日

土木工学科 主任 紺野克昭
建設工学専攻 主任 岩倉成志

4年生クラス担任からのメッセージ

皆さん、修了・卒業おめでとうございます。

修了生の皆さんとは私が大学に来た2年生の時から、卒業生の皆さんとは1年生の時からのお付き合いになりますが、この間、学業はいうまでもなく、就職活動等の試練を通じて皆さんは目を見張るほど立派に大きく成長されました。自分ではあまり気が付かないかもしれませんが、自信を持って4月以降の新しい世界に踏み出していただきたいと思います。

私としても、この5年間には大学という新しい世界で皆さんほどではありませんが成長させてもらったと思います。子育てをした経験がないので、皆さんとどう接していいか最初はとまどい、自分が大学生の頃を思い起こして試行錯誤しながらやってきましたが、時代は変わっても若者の喜怒哀楽にそれほど大きな違いがあるわけではないと今では思っています。それは大きな収穫だったと思います。

この間、どうしても接触の機会の少ない学生が出てしまいました。この点については、反省していますが、ある意味、努力の限界であったことも確かです。この場を借りてお詫びするとともに、ご理解・ご容赦をお願い致します。それにもかかわらず、自主独立の精神で立派に成長してくれたことにはたいへんうれしく思います。クラス担任はたぶん、もう一度することはないでしょう。この反省は今後の教員生活全体に活かしていきたいと思います。人生で同じことを2度できるチャンスはめったにありません。その時、その時に全力を尽くすことが大切であると今更ながら思い知らされました。

皆さんに、一つの言葉を贈りたいと思います。これは、そうなってほしくないという意味で贈るもので、私としても自分への戒めとしたいと思います。それは、「小人閑居して不善をなす」という儒学の入門書に出てくる言葉です。これは、通常、「徳の低い人間は一人でやることがないと悪いことばかりする」と解釈されますが、根拠はないのですが新解釈を試みました。それは、「自分のことしか考えずに、事なかれ主義でやっている」と、いろんなところで害を及ぼす」ということです。今の世の中は激しく変わっています。前例踏襲でやることは現実合わなくなっていて、常に改革を目指さなければ状況を改善することはできません。皆さんは、これからの人生で、好むと好まざるとに関わらず、所属する組織の中核を担っていくことになります。これからの社会が良くなるのも悪くなるのも皆さんの双肩にかかっています。改革には抵抗がつきものですが、長いものに巻かれるのではなく、是非、改革者としてこれからの時代を担ってもらいたいと思います。学科ではそういう教育をしたつもりです。

最後になりましたが、皆さんの、今後のご活躍とご健康をお祈りいたします。

2011年3月25日

クラス担任 遠藤 玲

遠藤 玲

土木工学科教職員からのメッセージ

卒業生のみなさま、卒業おめでとうございます。

今回の震災で改めて気づいた人も少なくないと思いますが、安全・安心・便利であたりまえ、危険・不安・不便となったら非難されるのが、都市インフラを仕事とする私たちの宿命です。しかし、未曾有や想定外という言い訳に逃げないで、新たな問題へも総力をもって最善を尽くすという感性があるのが、土木の卒業生だと思います。

この「感性」と、これから身につけていく「技術」を武器にして、リーダーとして自分が何にとって何をできるかを考えながら、自分が決めた目標に向かって頑張ってください。

ジオインフォマティクス研究室 中川雅史

中川 雅史

皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんはエリートとして社会をリードしなければならない人間です。そうした立場で苦しい時もあるかと思いますが、少しおおらかにかまえて、自分の考えていることが正しいと思ったら、それを忘れずにいつか必ず実現する情熱を持って、人生を全うしてもらえればと祈っています。そして、学校は社会でのホームタウンです。悩むことがあったら気軽に相談にきてください。

交通計画研究室 岩倉成志

岩倉 成志

卒業おめでとう。芝浦工大での学修を終え、社会へ旅立つ君たちへのメッセージです。与えられた仕事を通して、人々の豊かな生活のために貢献してください。家族と身近な友人たちを大切にしてください。そして、自分のあるべき人生をいつも心の中に抱き続けてください。東北・関東大震災という未曾有の災害の時に卒業を迎える君たちは、働くことの意義と暮らすことの深み、そして生きていることの意味を考える機会を与えられたのですから。

都市環境工学研究室 守田 優

守田 優

土木工学科卒業生の皆さん、大学院修了生の皆さん、卒業ならびに修了おめでとうございます。また、今日まで皆さんを支えてこられたご家族の方々に対してもここに深く敬意を表したく存じます。皆さんが本学にて修得した専門知識を人類社会の発展に貢献できるものと信じています。これからも不断の努力を惜しむことなく、挑戦し続け、新たな世界の扉を開かれることを心から祈念しています。

空間情報研究室 安納住子

Sumiko Anno

2011年3月卒業生の皆さん 卒業おめでとうございます

今年は残念ながら東北・関東大震災のために、将来への出発点である学位記授与式を行うことが出来ませんでした。このことは、皆さんにとっても大きな意味を持っていると思います。先生は海外の色々な災害調査に携わってきましたが、水工学の教員として、研究者として今回の災害ほどショックを受けたことはありません。わが国の工学技術への自然現象の挑戦を目の当たりに見る結果になりました。もろくも安全神話が崩れ去りましたが、これからの復興ではこれらの教訓を糧にしてさらなる努力が求められます。社会基盤、社会システムの整備の役割を担う土木技術者の使命について一人一人が真摯に考える機会に是非してほしいと思います。厳しい社会の中で、勇気と情熱をもって活躍されることを期待しています。

水圏環境研究室 菅 和利

菅 和利

今後苦しい復旧が始まります。その中心は君達で、それが使命です。港湾・高架・道路・橋梁・タンク・液状化・地盤改良・耐震補強等々、技術的なことだけでなく、金策や苦情処理もしなければなりません。公共的仕事を担う土木だからで、誇りを持って下さい。今後1年は当面の復旧で、その後は本格的構造対策に10年かかるでしょう。今回の地震被害をじっくり勉強しなければなりません。学んで思わざれば暗し、思いて学びざれば危うし

地盤工学研究室 岡本敏郎

岡本敏郎

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。卒業式・卒業証書授与式が中止となり、皆さんの晴れ姿を見ることができなく残念でしたが、これからの活躍を願っています。大学から社会へとこれからの活動範囲が移りますが、人と人とのつながりを大切に、協調性を持って仕事に臨むよう頑張ってください。また将来、芝浦工大のOBとして、後輩のために尽力してくれることを期待して待っています。

コンクリート構造研究室 勝木 太

勝木 太

修了、卒業、おめでとうございます。

社会は、皆さんの活躍を期待していると同時に、評価もしていきます。大変ですよ。でも、それはやりがいでもあるし、面白さだとも思います。失敗を恐れずに、あるいは、失敗から学びながら、元気で、誠実で、頼りにされる技術者へと成長して行ってください。一人の能力は限られています。社外含めて、たくさんの良き仲間を作って下さい。仲間が皆さんの能力（実力）となるはず。皆さんの活躍、心より期待しています。

地震防災研究室 紺野克昭

紺野克昭

皆様ご卒業おめでとうございます。芝浦工業大学で4年間学んだことに誇りを持って社会人としての新しい第一歩を踏み出してください。この4年間共に過ごした友人や教員は皆様の大きな財産ですので、この縁を大切にしてください。皆様一人一人が社会でご活躍されることを心より祈っております。「頑張ってください。心豊かな人生となりますように」。

鋼構造研究室 穴見健吾

穴見 健吾

芝浦工大で学んだことは（勉強以外でも）一つ一つが大きかったはず。それを一生の宝として一步一步進んで行って下さい。今後、悩むことも迷うこともたくさんあるかと思いますが、いつの日か同級生が大きな力になるはず。そのネットワークを大切にしてください。今後の日本・世界をリードする技術者・マネージャーとして羽ばたくみんなを確信しています。そして公私ともにコンクリートでお困りの際はいつでも相談してください。待っています。

マテリアルデザイン研究室 伊代田岳史

伊代田 岳史

ご卒業おめでとうございます。本来なら、大いに盛り上げて皆さんの新しい旅立ちをお祝いしたかったのですが、この様な形でしか祝意と感謝をお伝えできず、大変申し訳なく思っております。ただ私にとって一生忘れることのできない今年度の御卒業です。皆さんも同じ気持ちかと思えます。どうか、四年または六年間学ばれた土木工学科の事を忘れず、誇りを持って社会へ、あるいは進学へと道を歩んで下さい。また、いつでも訪ねて来て下さいね！

土木書記 川口明日香

川口 明日香

2010年度 受賞者一覧

建設工学専攻

専攻総代 松崎晋一郎 殿
専攻賞 水上 翔太 殿

土木工学科

総代 山田 篤志 殿
有元賞 青木 浩也 殿

土木賞 渡邊 僚太 殿
佐々木和泉 殿
伊藤 勝真 殿
白亜賞 濱田 勝大 殿
大熊 将史 殿
岸田 千華 殿

土木賞は、成績、人物ともに優秀な卒業生を対象に、土木工学科より授与しています。
白亜賞は、大学活動において模範となった学生を対象に、土木工学科の同窓会である白亜会より授与しています。